

HART

119

2023_4-6月号

HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART

兵庫県立美術館

特別展

恐竜図鑑

— 失われた世界の想像 / 創造 —

DINOSAUR DREAMS
IMAGINATION AND CREATION OF THE LOST WORLD

5月14日(日)まで



ステニエク・プリアン「イヴァノフドン・ヘルゴルデンシス」1950年 油彩・カンヴァス
© Jiri Hochman - www.zdenekprian.com and Fornut s.r.o.
プラハ・ナショナル博物館

出会いと、旅と、人生と。ある画家の肖像

日本近代洋画の巨匠

金山平三と同時代の画家たち

6月3日(土)~7月23日(日)



金山平三「菊」1921年頃 油彩・布 当館蔵

コレクション展 2023年コレクション展 I

《特集1》

虚実のあい *Between Fiction and Reality*

FICTION ← → REALITY



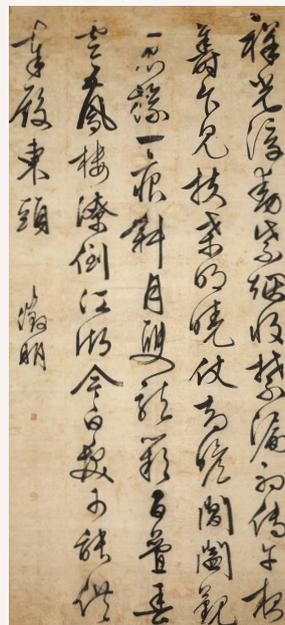
西山美奈子「ハイイわたしエリカ」1999年
令和3年度大和町司馬鑑蔵記念展蔵
©Minako Nishiyama

7月23日(日)まで

前期: ~4月9日(日) 後期: 4月29日(土)~7月23日(日)

《特集2》

中国明清の書画篆刻
梅舒適コレクションの精華
From Ming to Qing: Chinese paintings,
calligraphy and seal carving in the Bai Joreki Collection



文徵明「行書十門朝聖」明時代(16世紀) 梅舒適コレクション蔵

4月9日(日)まで

恐竜図鑑

— 失われた世界の想像 / 創造 —
DINOSAUR DREAMS
IMAGINATION AND CREATION OF THE LOST WORLD

5月14日(日)まで

観覧料 一般 2,000円、大学生 1,500円、高校生以下無料、
70歳以上 1,000円、障がいのある方(一般 500円、
大学生 350円)

子供から大人まで多くの大人を魅了し続ける恐竜。本展は、恐竜が「発見」された19世紀の奇妙な復元図から、チャールズ・R・ナイトやズデニェク・プリアンらが躍動する恐竜たちを生きたと描き出した20世紀の絵画、さらには最先端の研究に基づく今日のパレオアート(古生物美術)まで、恐竜をはじめとする太古の生き物のイメージの変遷を概観します。

関連イベント

- 学芸員による解説会 4月22日(土) 15:00~(約45分)、レクチャールーム、定員50名、聴講無料、当日先着順
- こどものイベント 詳細は当館Webサイトにてお知らせします。



ロバート・フランク(1911)の海の生き物。ドリアン・アレン・テイラー(1960)の恐竜。1960年頃。ロンドン・ナショナル・ミュージアム。© 2023 Sedgwick Museum of Earth Sciences, University of Cambridge. Reproduced with permission.

出会いと、旅と、人生と。ある画家の肖像 日本近代洋画の巨匠 金山平三と同時代の画家たち

6月3日(土)~7月23日(日)

観覧料 未定(詳細は当館Webサイトにてお知らせします。)

兵庫県ゆかりの洋画家、金山平三(1883-1964)の生誕140年を記念して開催する本展では、それまで取り上げることの少なかった金山の交友関係や壁画制作への取り組みなど様々な視点に焦点をあて、金山を中心とした、日本近代美術の新たな像の構築をめざします。当館および他館所蔵の金山の代表作に加え、彼と交流のあった美術家による珍しい絵画作品も展示します。



金山平三《さびれたる寛城子》1918年 油彩・布 当館蔵

関連イベント

- 学芸員による解説会 6月17日(土)、6月24日(土)、7月22日(土) 各日15:00~(約45分)、レクチャールーム、定員50名、聴講無料、当日先着順
- こどものイベント 詳細は当館Webサイトにてお知らせします。

2023年コレクション展 I

《特集1》

虚実のあいり Between Fiction and Reality

FICTION ← → REALITY

7月23日(日)まで

前期:~4月9日(日) 後期:4月29日(土)~7月23日(日)
※4月10日(月)~28日(金)は閉室し、一部展示替えを行います。

観覧料 一般 500円、大学生 400円、高校生以下無料、
70歳以上 250円、障がいのある方(一般 100円、大学生 100円)

古来より、美術作品には虚構と現実のあいりをゆれ動く側面がありました。特集1では、当館の近現代の作品の中でも「リアル」を追求しながら同時に「フィクション」であろうとする、またその逆に「フィクション」でありながら現実世界の在りようを如実に表す、といった虚実のあいりに位置する作品を展示して、その多様な表現をご紹介します。



東野智裕《侵食1》2013年 令和3年度 大和卓司氏遺贈記念収蔵

関連イベント

- 学芸員による解説会 4月9日(日)、5月20日(土) 各日15:00~(約45分)、レクチャールーム、定員50名、聴講無料、当日先着順

《特集2》

中国明清の書画篆刻 梅舒適コレクションの精華

From Ming to Qing: Chinese painting, calligraphy and seal carving in the BAI Joteki Collection

4月9日(日)まで

特集2では、戦後日本を代表する書家・篆刻家である梅舒適(1916~2008、本名:稲田文一)が独自の金石研究に基づく慧眼で収集した文物のなかから、中国明・清時代の優品約90件を紹介いたします。コレクションは明代中期の文人・文徵明(1470~1559)にはじまり、清代中期に揚州を舞台に活躍した書画家たち・揚州八怪、中国最後の文人と称される呉昌碩(1844~1927)にまでおよび、書・画・篆刻を網羅している点に大きな魅力があります。初の大規模な公開となる梅舒適コレクションの精華を、心ゆくまでご堪能ください。



羅聘(墨梅圖)清・乾隆48年(1783) 梅舒適コレクション 第II期展示

コレクション展無料の日《4月9日(日)、5月14日(日)、6月11日(日)》

展示期間中の毎月第2日曜は、公益財団法人伊藤文化財団のご協力により、コレクション展を無料でご覧いただけます。

美術館の調べ

■ 渡部陽翔ピアノリサイタル
4月1日(土) 14:00~ アトリエ1にて
(定員60名、無料
当日13:20から整理券配布)
曲目:ドビュッシー「映像 第2集より
『そして月は廃寺に落ちる』」ほか



渡部陽翔 (ピアノ)

■ 高橋真珠ヴァイオリンリサイタル
4月15日(土) 14:00~ アトリエ1にて
(定員60名、無料
当日13:20から整理券配布)
曲目:プロコフьев「無伴奏ヴァイオリン組曲
第2番」ほか



高橋真珠 (ヴァイオリン)

■ 北島里枝&藤本紀子デュオコンサート
5月27日(土) 14:00~
アトリエ1にて
(定員60名、無料
当日13:20から整理券配布)
曲目:ベートーヴェン「ピアノと
ヴァイオリンのためのソナ
タ6番イ長調」ほか



北島里枝 (ヴァイオリン) 藤本紀子 (ピアノ)

四季シリーズコンサート<春>

■ 松本光史ピアノコンサート
6月4日(日) 14:00~ アトリエ1にて
3,000円(当日3,500円)
曲目:ショパン「幻想曲 作品49」ほか



松本光史 (ピアノ)

落語の会

■ 泉美亭ワンコイン寄席
4月21日(金) 14:00~
ミュージアムホールにて
500円(定員80名、当日13:20から
会場前でチケット販売)
演目:「千両みかん」林家花丸
「鹿政説」露の吉次



林家花丸 露の吉次

6月9日(金) 14:00~
ミュージアムホールにて
500円(定員80名、当日13:20から
会場前でチケット販売)
演目:「竹の水仙」露の吉次
「鯛」桂三歩



露の吉次 桂三歩

泉美シネマクラシック

4月14日(金)
■ 特別展「恐竜図鑑」開催記念特別上映
「伝説の恐竜・怪物映画特集」

伝説的な恐竜映画「ロスト・ワールド」と怪物映画の最高傑作「キングコング」の2本を上映する。いずれも後の恐竜映画やSF映画に大きな影響を与えた記念碑的作品。「ロスト・ワールド」の原作はシャーロック・ホームズ生みの親として名高いコナン・ドイルのSF小説。「ロスト・ワールド」上映後に、学芸員による「恐竜図鑑」の特別解説がある。



「ロスト・ワールド」の一場面 (提供:アイヴィー・シー)

「ロスト・ワールド」 10:30
(1925年、1時間3分) サイレント音楽付
監督:ハリー・O・ホイト
出演:ベッシー・ラヴ、ルイス・ストーン、ウォレス・ピアリーほか
「キングコング」 14:00
(1933年、1時間37分)
監督:メリアン・C・クーパー、アーネスト・B・シュードバック
出演:フェイス・レイ、ロバート・アームストロングほか
料金:1作品800円、2作品1,500円
「芸術の鑑友の会」会員は1作品500円
ミュージアムホールにて

5月19日(金)

■ キュリー夫人

①10:30 ②14:00

女性初のノーベル賞受賞者であり、同賞を初めて2度受賞した人物でもあるマリー・キュリー。女性学者に対する偏見に屈せず、世界を変える発見を成し遂げた彼女の半生を、夫婦愛を軸に描く(1943年、1時間52分)



「キュリー夫人」の一場面

監督:マーヴィン・ロイ
出演:グリア・ガソン、ウォルター・ピジョンほか
料金:800円、「芸術の鑑友の会」会員 500円
ミュージアムホールにて

■ 美術館の日

4月29日(土・祝)~4月30日(日)

2002年4月6日に兵庫県立美術館が開館したのを記念して、毎年4月に「美術館の日」を開催しています。2日間にとり多様なプログラムを開催します。詳細は当館Webサイトにてお知らせします。

各主催者によるイベント

■ Lemurian Music Festival, ~レムリアの音楽祭~
4月22日(土) 16:00開演(15:30開場)
アトリエ1にて
入場料:一般 2,500円/学生 1,500円/小学生 1,000円
主催:西川順子
お問合せ: junpuchjun512@gmail.com

■ フルト・サクソフォン・ピアノによる 午後の音楽会(お話し付き)

5月14日(日) 14:00開演(13:30開場)
アトリエ1にて
入場料:一般 3,000円/ペア 5,000円/中学生以下 1,500円
(3歳以下無料/要予約・全席自由)
主催:トリオ・エクラ
お問合せ: trioeclat3.fsp@gmail.com
080-3826-9173 (山田)

■ 2023年第51回現代芸術国際AU展

6月20日(火)~6月25日(日)
10:00~18:00(最終日は15:00まで)
ギャラリー棟3階にて 入場料:無料
主催:ART UNIDENTIFIED(AU)
お問合せ: 0798-64-5370

共催展

■ ゴッホ・アライブ

6月4日(日)まで 10:00~18:00(入場は17:00まで)
ギャラリー棟3階にて
入場料:一般 2,500円/大学・高校生 2,000円/中学・小学生 1,500円
会場中に設置した最大7mの壁・床に投影する最新鋭の映像と大迫力の音楽で躍る「ゴッホ」。世界で850万人を動員した話題の没入型展覧会。すべて撮影OK。アートファンからファミリーまで、自分が作品に溶け込むような感覚を楽しめます。
主催:「ゴッホ・アライブ」神戸会場実行委員会
お問合せ: キョードーインフォメーション 0570-200-888 (月~土 11:00~18:00)
公式HP: https://goghalive.jp.com



SCHEDULE 2023

4

April

1 土	■美術館の調べ	14:00	特別展「恐竜図鑑」 コレクション展I(前期)
3 月	休館		
9 日	■学芸員による解説会 (コレクション展《特集1》)	15:00	
	■2023年コレクション展I(前期) 閉幕		
10 月	休館		
14 金	■県美シネマクラシック	10:30/14:00	
15 土	■美術館の調べ	14:00	
17 月	休館		
21 金	■落語の会	14:00	
22 土	■学芸員による解説会(特別展「恐竜図鑑」)	15:00	
	■Lemurian Music Festival, ～レムリアの音楽祭～	16:00	
24 月	休館		
29 土・祝	美術館の日		
	■2023年コレクション展I(後期) 開幕		
30 日	美術館の日		

5

May

1 月	休館		2023年コレクション展I(後期)
8 月	休館		
14 日	■フルート・サクソフォン・ピアノによる 午後の音楽会(お話し付き)	14:00	
	■特別展「恐竜図鑑」 閉幕		
15 月	休館		
19 金	■県美シネマクラシック	10:30/14:00	
20 土	■学芸員による解説会 (コレクション展《特集1》)	15:00	
22 月	休館		
27 土	■美術館の調べ	14:00	
29 月	休館		

6

June

3 土	■特別展「金山平三展」開幕		特別展「金山平三展」
4 日	■四季シリーズコンサート<春>	14:00	
5 月	休館		
9 金	■落語の会	14:00	
12 月	休館		
17 土	■学芸員による解説会(特別展「金山平三展」)	15:00	
19 月	休館		
20 火	■2023年第51回現代芸術国際AU展(～25日)		
24 土	■学芸員による解説会(特別展「金山平三展」)	15:00	
26 月	休館		

■特別展 ■コレクション展 ■各主催者によるイベント ■共催展
■ミュージアムコンサート ■県美シネマクラシック ■舞台芸術



兵庫県立美術館
HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART



こどもプログラム

こどものイベント

詳細は決まり次第、当館Webサイトにてお知らせします。

つながる ひろがる 美術館

当館Webサイト(「こどもプログラム」ページ)にて、館外でも身近に美術に触れることができるプログラムや鑑賞プログラムをご紹介します。



ワークショップに挑戦してみよう!

①「つくって・みる・ひろば」

過去に「こどものイベント」で行ったワークショップの中から、家庭にある身近な材料と道具で取り組むことができるようにアレンジし、ご紹介します。

★〈その1〉「くみあわせよう!」

★〈その2〉「ヒゲンジツをつくれるか?」

★〈その3〉「ふきだしつけちゃおう!」

★〈その4〉「マイ・コレクション展」

美術館でのおやくそくをYoutubeでチェック!

②「みる・みる・ひろば」

美術館の楽しみ方や活用方法など、こどもとご家族向けにわかりやすく発信していきます。

★〈その1〉「はじめての美術館～兵庫県美のおやくそく」



おうちでやってみよう!

③「あそんで・みる・ひろば」

「遊び」感覚で気軽に取組みながら当館所蔵作品に親しむことができるプログラムです。

★「フレームでアート」〈その1〉「マイフレームをつくろう」

★「フレームでアート」〈その2〉「食べもの大集合!」

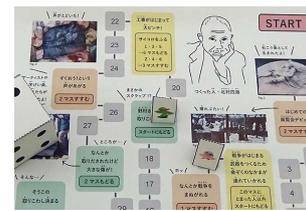
身の回りのものにフレームをつけて作品に変身させてみよう!

たちはなむ

「橋 媛」の人生すごろく

当館所蔵の彫刻作品 北村四海「橋媛」が生まれてから美術館にやって来るまでの波乱万丈の人生がすごろくになりました!

家族や友達と一緒にぜひ遊んでみてね!



「こどもプログラム」ページからダウンロードしてみてね!



「こどもプログラム」ページ

artm.pref.hyogo.jp/kids/index.html

申込み・お問合せ: 078-262-0908



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開館時間、各イベントなどの日程は変更する場合がございます。最新の情報や詳しい情報は当館Webサイトでご確認ください。